2015年8月7日

第44回近畿学校図書館研究大会様

スマホ時代の子どもたちの現状と対策を考える

NPO法人 奈良地域の学び推進機構 京都府警ネット安心アドバイザー 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 石川 千明

使つてる>持ってる

低学年でLINE 7割

「寝た子を起こすな」論

寝てる子どもはいない

大切なのは「使い方」

ほとんどの人は正しく

残念ながら失敗する人も

OSNS NETTU

SNS ソーシャルネットワーキングサービス 人と人が交流するサービスの総称

SNSのトラブルは大きく2種類

- ①コミュニケーション
 - →言葉、既読スルー
- ②ネットモラル
 - →交通ルールのようなもの
 - →そもそも反社会的な行為

私たち大人ができること

- ①リアルのコミュニケーションカ
- ②実体験に出会う機会
- ③子どもとの対話を大事に

気軽な投稿から炎上



②ネット炎上

ニュース

















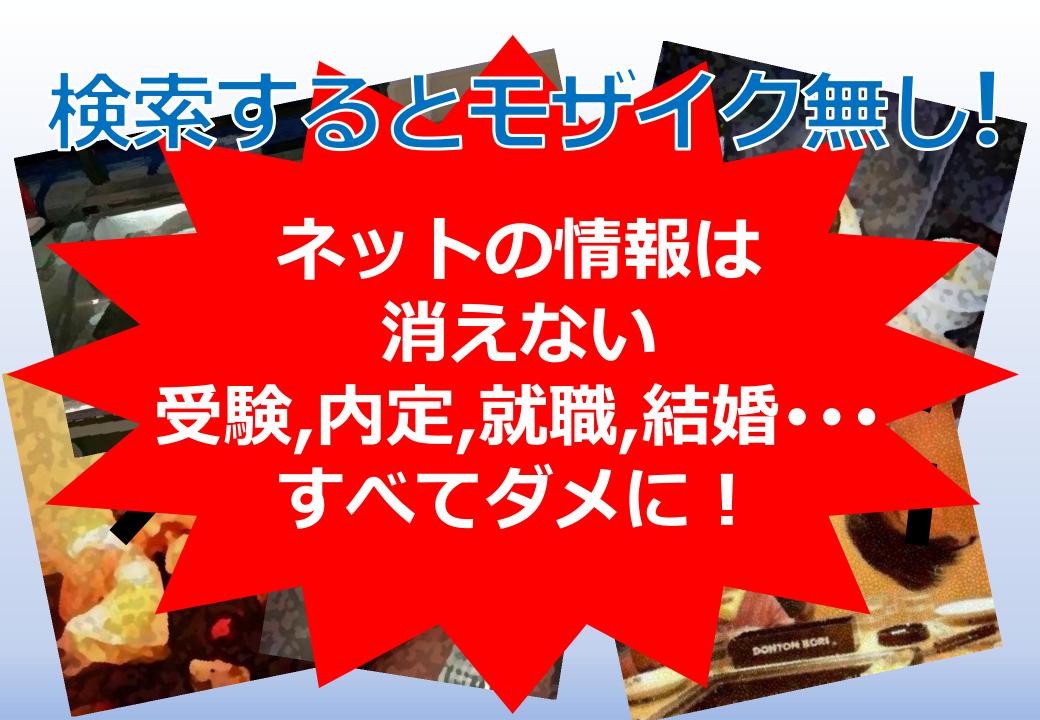
まとめサイト











どうして?

「悪い俺」カッコイイ自慢

自己顕示欲

承認欲求 自分を認めてほしい

スマホは飽きる事がない?

大人も子どもも
ヒマさえあれば



中高生のネット依存症52万人

治療を受けるのが望ま大人も入れると 420万人超

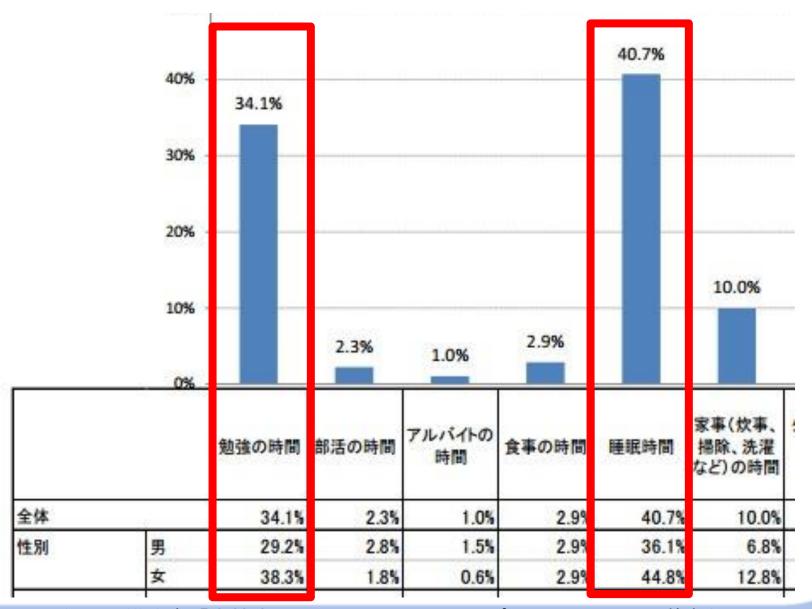
食事・入浴・トイレでもホット

人と一緒の時もネット

仕事・勉強以外で1日3時間以上ネット

成城墨岡クリニック診断基準

スマホ利用開始により減った時間



2014年5月 総務省「高校生のスマートフォン・アプリ利用と ネット依存傾向に関する調査」



どうして?

- 1. リアルがつまらない
- 2. 現実逃避
- 3. ひまつぶしから依存へ

ネット、ゲーム依存の子ども

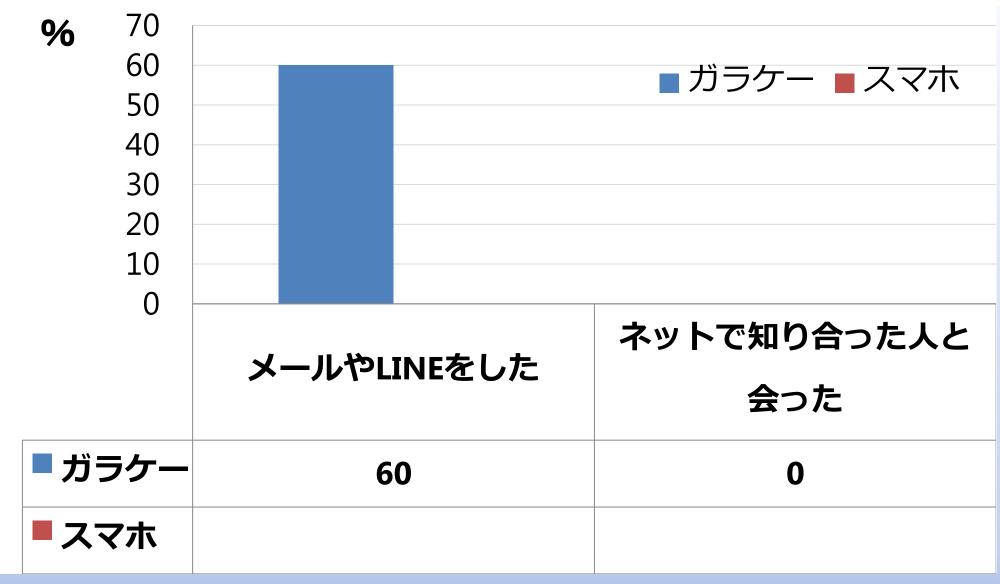
- •発達障害
- ・心の病気
- 家庭環境

時間制限の問題だけではない

多表ットで出急い

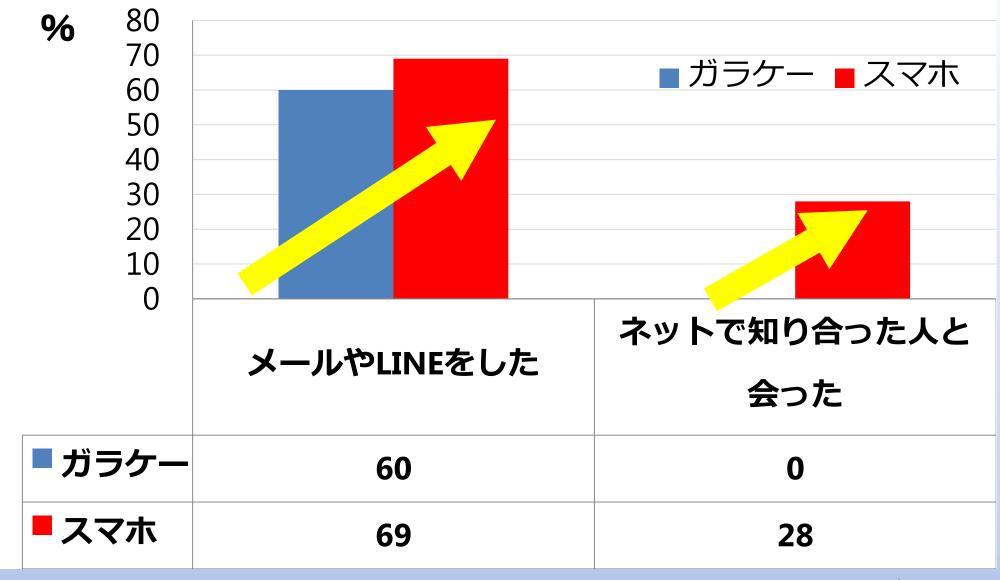
ネットで知り合った人と、 「会った」女子高生28%

会ったことが無い人と女子高生の場合



2014年10月 大阪市 私立高校の調査より

会ったことが無い人と女子高生の場合



2014年10月 大阪市 私立高校の調査より

コミュニティサイトに起因する 児童被害の事犯に係る調査 (平成26年下半期)

平成27年4月16日警察庁発表

警察庁 http://www.npa.go.jp/cyber/statics/h26/h26_community-2.pdf

調査より

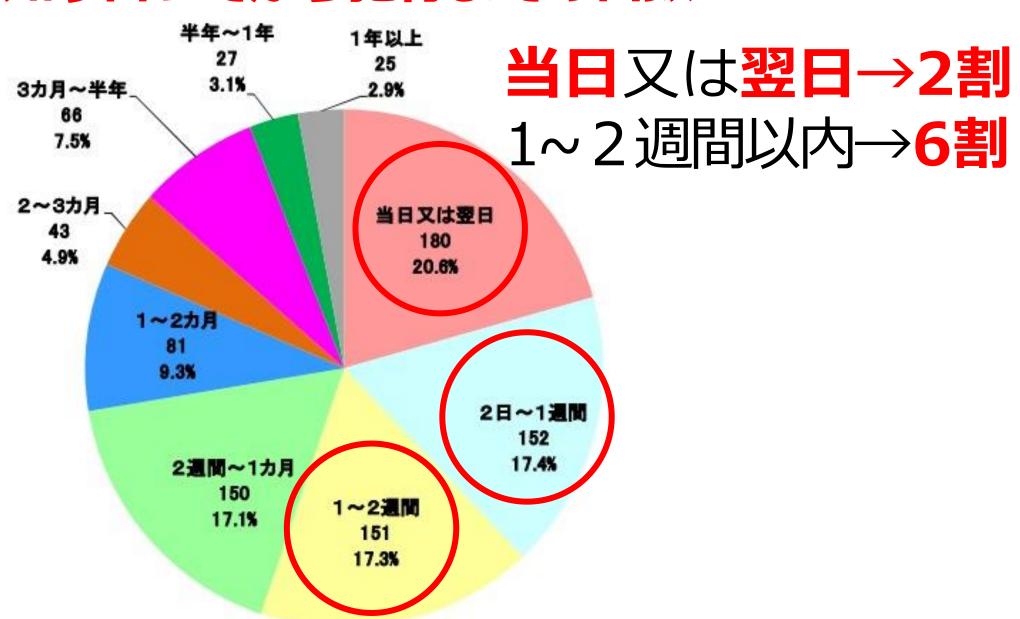
コミュニティサイトで児童が犯 罪被害に遭った検挙件数は1421人 (前年より+128人 +9.9%増加)

コミュニティサイト=SNS SNS=人が交流するサービス

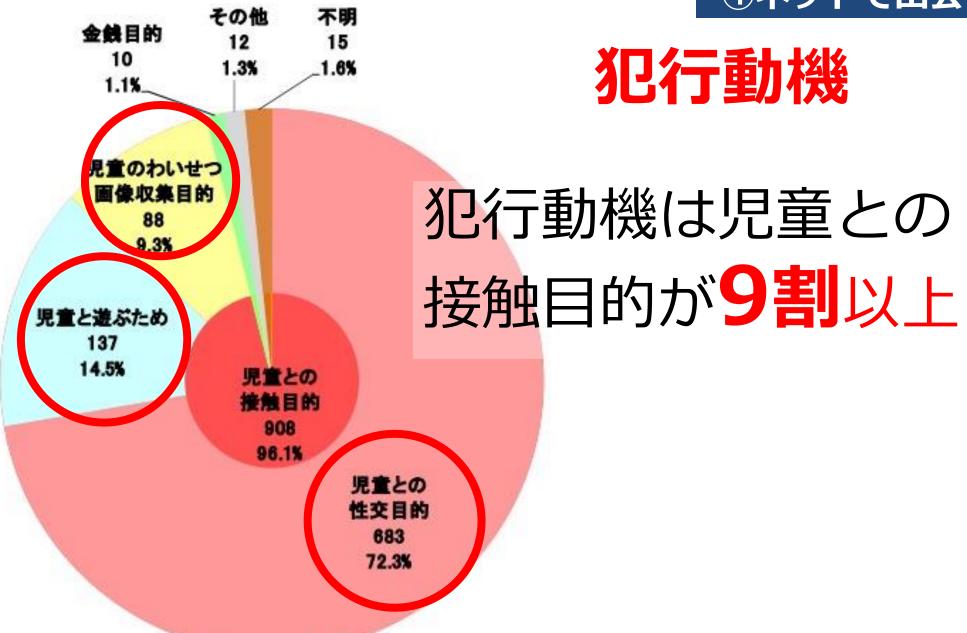
コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査(平成26年下半期)

知り合ってから犯行までの日数

④ネットで出会い



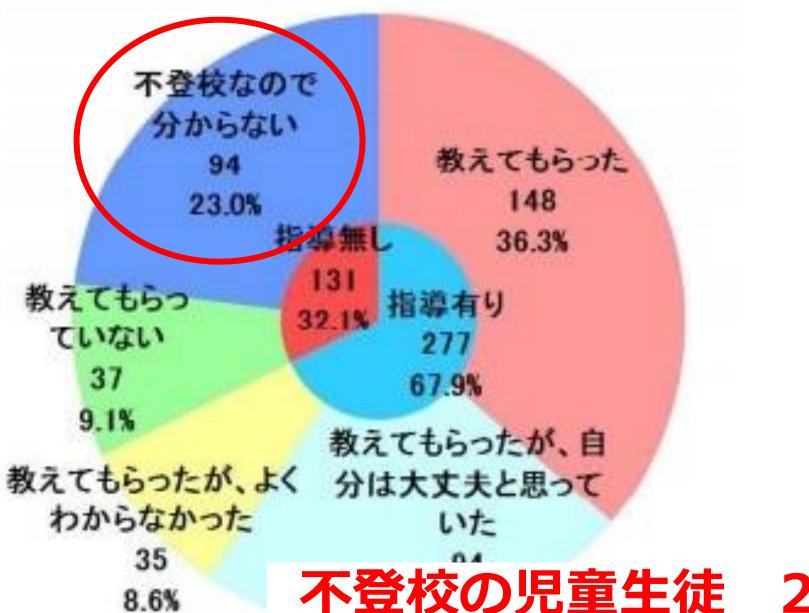
コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査(平成25年下半期)



コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査(平成25年下半期)

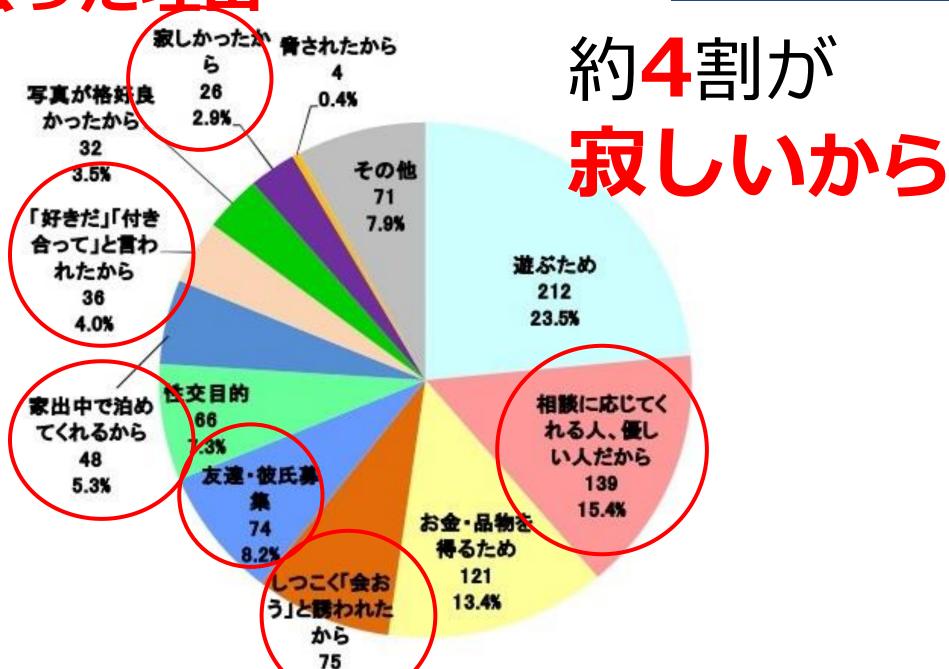
学校における指導状況

4ネットで出会い



23%

会った理由



セクストーション(性的脅迫)

セクストーション

わいせつ画像をネタに脅迫する行為



リベンジポルノ

別れた仕返しに元恋人の 写真や動画を拡散する行為 三鷹の殺人事件で



被害相談の9割が女子中学生!

全国webカウンセリング協会調べ

どうして?

- 1. 自分の居場所がない
- 2. 寂しい (共感してほしい)
- 3. 本当は親に話を聞いてほしい
- 4. ネットの中の大人は優しい



1. 啓発講座 すべての世代に

2. フィルタリング

3. 家庭、学校でルール作り

対策① 学校での耳の行為

御校のスマホ所持率は?

小学校での所持率

LINEグループ

スマホ・音楽プレイヤーの持込み

一切不可?

許可制?

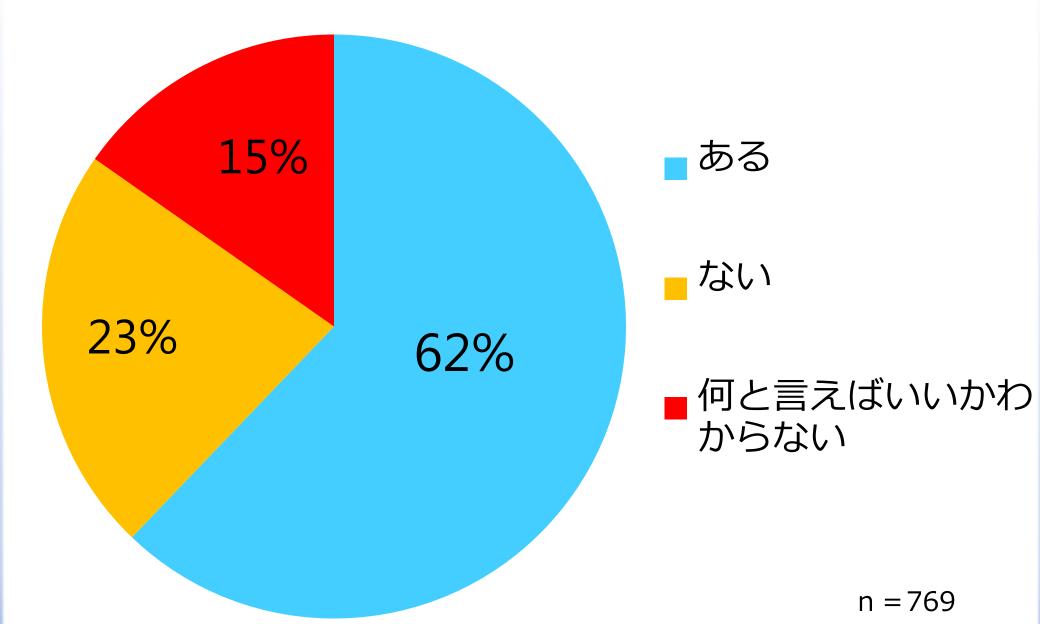
回収?

リアルタイムに情報

校内から動画配信

クラブの連絡網は有り?

スマホ・ネットの危険性 親子で話合い



学校での取り組み

- ①保護者と児童で
- ②児童のみ振り返り
- ③保護者向け講座

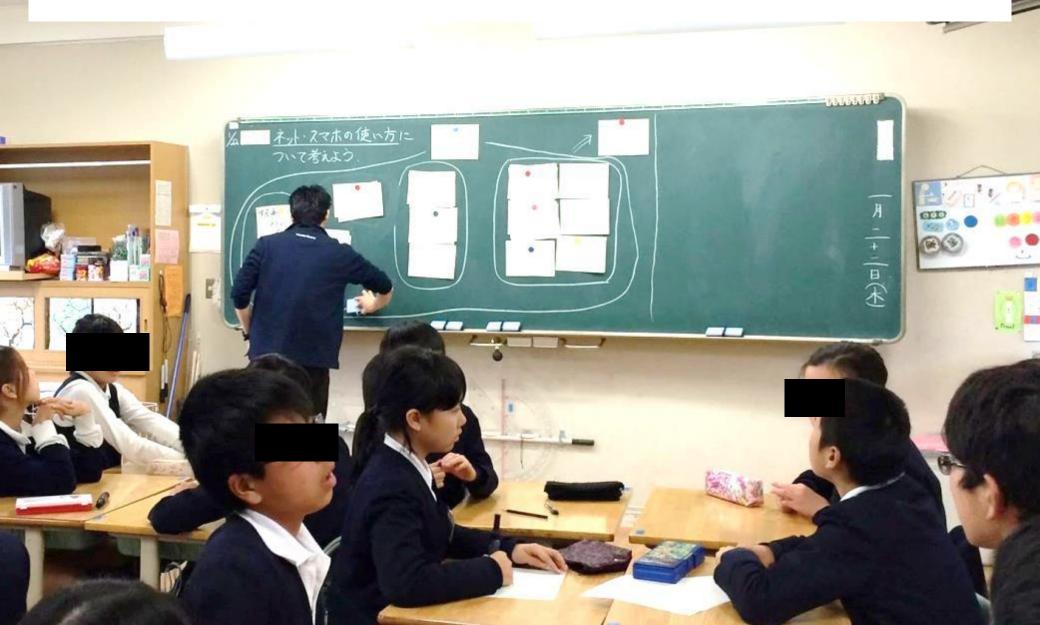
保護者と子どもが一緒に啓発授業



一緒に講座を受けると、 家での話し合いがしやすい

HE CO

教室で担任の先生を中心にワーク



中学校、高校での取り組み

①情報モラル講座

②ワークショップ

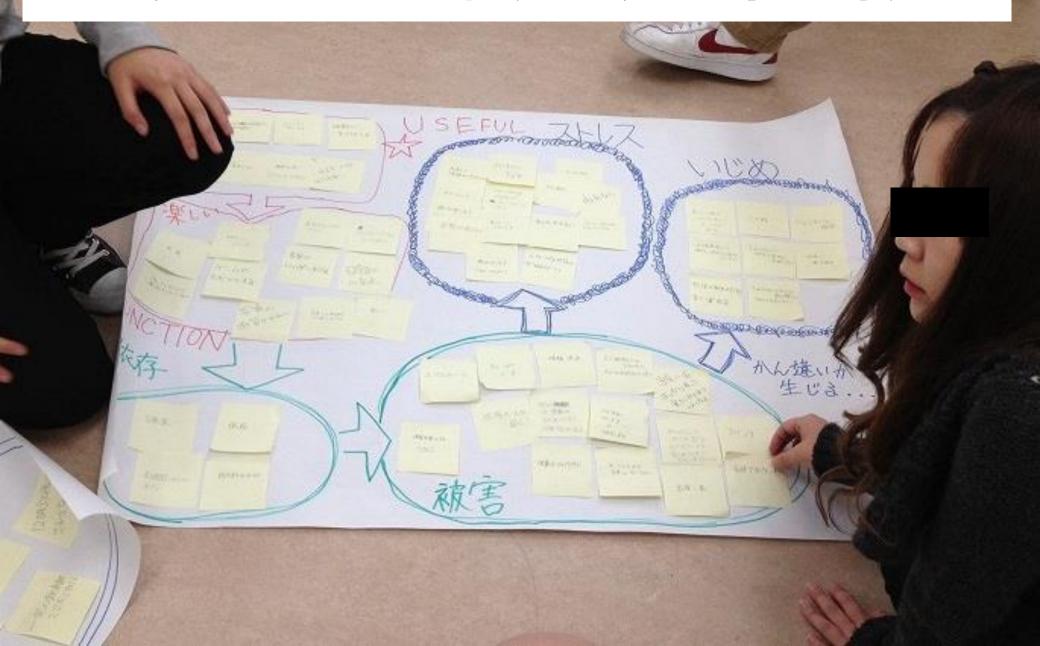
③発表、共有で気づき



友達の話を聞いて気持ちを知る



どうすれば上手に使えるか対策を考える





学校やクラスで目標を決める



取りあげることより、

どうしたら上手に付き合えるか

子どもたち自身が考え、

気づきを与える取り組み

対策② フィルタリング

有害サイトから子どもを守り ネットリテラシーを育てる

フィルタリングの状況

フィルタ<mark>リン</mark>グ有 5.5%

フィルタリング無

94.5%

フィルタリング未加入94.5%

コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査(平成25年下半期)

フィルタリングで子どもを守る

有害情報をカット!



危険な人と出会わない ように守ってくれる!

LINEも使える!



※2015年3月EMA認定取得

設定でSNSも ゲームも可能に!





資料提供:デジタルアーツ

JU-JUAFO

家庭、学校、地域で

子どもがルールを守らない問題

子どもにルールを作らせる 勝ち取ったルールは守る ペナルティも子どもに

学校での話し合いのポイント ②ルール作り

- ①SNS、人間関係
- ②個人情報、人権
- ③ネットでの出会い
- 4時間、場所
- (5)マナー
- ⑥お金、課金
- ⑦法律、社会の決まり

対策の 国うたら相談

子どもが相談できる場所に

ネットで困ったら相談したい人は?

	スマホ	ガラケー
第1位	友だち	親
第2位	親	友だち
第3位	警察	警察
第4位	先生	先生

資料提供:兵庫県立大学竹内研究室

子どもへの声かけ

①困ったら相談してほしい

②知ってる人、知ってるから

③暴走しないよ

スマホに逃げ込む子ども 「寂しい」 「居場所がない」 「リアルがつまらない」と感じている

必要なのは、 子どもの心をつかまえ、寄り添うこと。 そして**親と子の関わり**。

ご清聴ありがとうございました

